

令和4年1月31日
株式会社スカパー・エンターテイメント
ウォルト・ディズニー・ジャパン株式会社

ナショナル ジオグラフィック 番組審議会議事録

- ・日時 令和3年12月
- ・開催方法 新型コロナウイルスの影響により書面にて開催
- ・参加者 審議委員総数 8名
参加委員数 8名

(参加委員名)

- 委員長 山田 顕喜 (日本大学芸術学部映画学科元教授)
- 副委員長 前田 耕作 (生涯教育新聞社代表)
- 委員 木下 美子 (元青山学院初等部英語教諭)
- 委員 土屋 礼子 (朝日新聞社 取締役)
- 委員 名越 康文 (精神科医・評論家)
- 委員 藤田 興彦 (公益法人児童育成協会参事)
- 委員 三枝 幹夫 ((株)オリコンME WEB 編集本部 ORICON NEWS 編集部 編集長)
- 委員 阿部 京子 (ナレーター・キャスター・(有)タイムリーオフィス代表)

(放送事業者・番組供給事業者側 参加者：ウォルト・ディズニー・ジャパン株式会社)

- 小林 信一 (エグゼクティブ ディレクター チャンネル、サービス
ディストリビューション&コンテンツアキュイジション)
- 藤 慶英 (メディア戦略 シニアマネージャー)
- 伊藤 由起 (編成 ディレクター)
- 小林 愛 (編成 コーディネーター)
- 待鳥 雅之 (編成 アシスタント・マネージャー)

- ・議題 (1) ナショナル ジオグラフィックの番組編成について
(2) 審議番組「潜入！北朝鮮：サイバー攻撃」について

・議事内容

(以下、* : 委員からの意見・質問、→ : ディズニーの説明・回答)

(1) ナショナル ジオグラフィックの番組編成について

→12月のハイライトは下記の通り。

→9日(木)20:00～21:00「ビッグ・キャットと雪の王国」日本初放送。

→11日(土)20:00～21:00「発掘！ナイルに沈んだ王墓」日本初放送。

→21日(火)20:00～21:00「スクープ！ドラッグと欲望の世界 2」日本初放送。

(2) 審議番組「潜入！北朝鮮：サイバー攻撃」について

・放送概要：

→2021年5月17日(月)22:00～23:00(初回放送)

約60分×1本

・番組内容：

2014年、アメリカのソニー・ピクチャーズエンタテインメントの社内システムが大規模なハッキング被害に遭った。この事件をきっかけに世界は北朝鮮のサイバー攻撃の脅威を思い知ることになる。北朝鮮は戦闘員や兵器を戦場に送らずとも、破壊活動を行えるのだ。サイバー攻撃がもたらす被害は情報流出だけに限らない。銀行のシステムに入り込めば現金を盗み出すこともできるのだ。番組ではサイバー攻撃による被害の実態に迫る。

→本作は、諸々断片的に伝えられている2014年のハッキング事件を含めた一連の出来事について、それらが起きるまでの経緯や背景などをより詳しく分かりやすく解説する構成となっている。

→関連作品としては他には、北朝鮮の建国と金王朝3代の歴史を辿る特番や、国家主導で行われている非合法活動の実態に迫るものなどもある。

*日本のドキュメンタリーではなかなか見ることができない北朝鮮に関する踏み込んだドキュメンタリーだ。

*ハッカー集団の海外進出、外貨稼ぎ、権力の継承、相互干渉(RGB・工作機関の干渉)などを追い、更に中国、アメリカとの関係、ソニーの機密情報の流出、金正恩による伯父の処刑など、現独裁政権の歴史と現状がよく見えてくる。

*内容的にはショッキングでインパクトがある。

*アメリカがとらえる北朝鮮の姿だが、日本で放送することについてはやや懐疑的に感じる。

*アメリカ側のプロパガンダ的にとらえられたり、真偽に疑義が生じる可能性がある。

*デジタル分野が弱い日本では、危機意識が募るかもしれない。

*純粋な感想として、非常に面白かった。

- *北朝鮮としては、非常に厳しい制裁を受けており動きが取りにくくて選択肢も少ない中で、考え抜いた末に彼らなりの答えを見つけ、ネットを使った攻撃・犯罪こそが最も安価で効率的かつ効果的という答えにたどり着いたのであろう。
- *我々の常識からすると、こうしたことはどれも許されぬ犯罪行為ではあるものの、彼らの側にしてみれば、生き残るためという極めて明確な戦略に基づいて粛々と実行しているだけで、ある意味で悪意はないのかもしれない。
- *本当に日本人のためになる番組。いつの間にか、こんなハッカー王国になっていたことは知っておくべきだし、もっと強く危機感を持つべき。
- *彼らの意図が非常によく分析・検証されている。
- *中国については少々気を使っているのだろうか、彼らの関与については軟らかめに表現されているが、ロシアも北朝鮮には色々介入していた過去があるので、強く関わっていたことを、もう少しはっきり出しても良かったのではないか。
- *ぜひこの続編的なものとして、この脅威にどう向き合うべきか・対応すべきかをさらに考えさせるものも作ってほしい。
- *ナショジオと言えば、リサーチ力の高さや正確さで定評があるが、この作品を通して、世界情勢の分析にもその力が十分に発揮されていて、大変興味をそそるものとなっていると感じた。
- *もともとは、危険な指導者が率いる国で、数年前に初めて米国と指導者同士で直接向き合う機会を持ったところくらいまでしか知らなかったが、神格化されたキム一族の三代目が父や祖父とはちがって、国内の若者に科学技術に目を向けるように施策を打って、米国にハッキング攻撃をできるようにまでなった経緯が良く分かった。
- *北朝鮮がどういう国であるか、いま周辺諸国とどういう関係・状況にあるのか等について深く学べた。
- *正直、日本に生まれてこの国の国民でよかったと思った。
- *狙われた企業・ソニーPEの被害が甚大さも伝わった。コメディやパロディが通じない国への対応の難しさを十分知ることが出来た。
- *取材力、編集力のもとサイバー攻撃の表裏が映像化されていて、兵士を送らない戦争を仕掛けてきていること、自分の立場からこの不法行為を黙認している中国など政治的な背景が良く理解できた。
- *サイバー攻撃は、内部資料、契約書、社員の個人情報までが社会に流出し取り返しのつかない事態を招くこと、また、最終的には政治的な攻撃だけでなく、通貨の流出を狙っている背景も理解できた。
- *世界最強を誇示していたアメリカにもたらされた脅威は、北朝鮮と隣国関係にある我々以上のものだったのかも知れない。
- *われわれ視聴者にも危機感が迫ってくる硬派のドキュメンタリーだ。

- **審議機関の答申又は改善意見に対してとった措置その年月日：**

今回の審議会に出された意見については、審議会が開かれた令和3年12月以降、各番組のプロデューサー、担当者へのフィードバックをはじめ、番組制作会議等で、活用し、さらなる番組の向上のために適切な措置を講じるよう努めていく。

- **審議機関の答申又は意見の概要を公表した場合におけるその公表の内容、方法、及び年月日：**

令和4年1月以降に、ホームページに審議会概要を掲載、公表する予定。

以上